



田園調布中だより

令和6年3月25日第13号

大田区立田園調布中学校

校長 木崎 正和

修了式校長講話より 令和6年3月25日(月)

新年度に向けて～良き伝統を引き継いで～



校長 木崎 正和

今日は、1年の締めくくりである修了式です。その前に、19日(火)は、3年生が自ら温かい雰囲気をつくり、思い出に残るとってもいい卒業式でした。

1・2年生には、新年度に向けてしっかり準備をして欲しいと思います。今年度も「生徒一人一人が夢や希望を描ける学校づくり」を目指して努力をしてきました。令和6年度も落ち着いた環境で、みんなが過ごしやすい田園調布中にしていきましょう。4月からは、それぞれが進級し、この学校の中心として、先輩たちが築いてきた良き伝統を引き継いでいきましょう。今の田園調布中に引き継がれている伝統とは、「授業を大切にしていること」・「学校行事や学年行事に一生懸命に取り組んでいること」・「朝礼や集会、避難訓練などで整然と整列ができ、人の話をよく聞くことができること」などです。これらは、先生方の指導のもと、生徒一人一人の努力で作りに上げていることばかりです。つまり、日々充実した学校生活の積み重ねが「伝統」に繋がっているのです。

これから担任の先生方から、修了証と通知表が渡されます。この修了証により、今年度の全課程を修了し、4月からは新しい学年、新しい学級でのスタートになります。そして、通知表の担任の先生からの所見をじっくり読んで下さい。この1年間の成長やまだ不十分なところなど皆さん一人一人のさらなる成長を期待して心温まる文章が書いてあります。春休みに向けての心構えや最上級生(3年生)、中堅学年(2年生)に向けての具体的なアドバイスもあります。卒業式で、藤本 春君が卒業生代表の言葉の中で、「先生方は、3年間私たちに勉強を教えてくださいました。教科のことだけでなく、これから私たちが社会に出られるように他の様々なことも教えてくださいました。担任の先生方、学年の先生方はこの学年をずっと支えてくださいました。日々の生活態度や進路の指導だけでなく、私たちの相談に乗ってくださるなど本当に様々な面でお世話になりました。たくさんご迷惑をおかけすることもありましたが、先生方のお陰で私たちは無事卒業の日を迎えることができました。本当にありがとうございました」とお話してくれました。とってもいいお話でした。胸が熱くなりました。田園調布中の先生方は、本当に生徒思いの熱い心のある先生ばかりです。皆さんのことを思っているがゆえに、時として厳しい言葉も出てきます。皆さんには、先生方のそのような思いにしっかり応えて欲しいと思います。

明日から春休みになります。春休みは短いですが、有意義に過ごし、4月8日(月)の始業式に元気な姿で会いましょう。



三年生を送る会

3月8日に三年生を送る会を実施しました



卒業式

3月19日卒業式を実施しました

